

エゾシカ影響調査・簡易チェックシート(天然林・人工林共通) 令和 年度版

場所	署名	担当区	林班	小班
調査日	林相			<input type="checkbox"/> 針広混交林 <input type="checkbox"/> 針葉樹林 <input type="checkbox"/> 広葉樹林
周辺環境	<input type="checkbox"/> 沢と隣接 <input type="checkbox"/> 畑と隣接 <input type="checkbox"/> 牧草地と隣接		林種	<input type="checkbox"/> 天然生林 <input type="checkbox"/> 育成天然林 <input type="checkbox"/> 人工林

※ 該当する□にチェック を入れる。チェック漏れのないよう確認すること。
 ※ 針葉樹林・広葉樹林とは、それぞれの針葉樹・広葉樹の材積歩合が75%を指し、それ以外を針広混交林とする。
 ※ ササの食痕の判断については、意識しないで食痕等が目につくのは「多い」、探さないと食痕等が見つからない場合は「わずかにある」とする。
 ※ 樹皮剥ぎ等の「新しい」は、直近の積雪期の樹皮剥ぎ等とする(暗く変色していないもの)。
 ※ 植栽木の痕跡調査本数は、下刈期のものは50本を目安とするが、それ以上の林齢の箇所は適宜減らしてよい。

■A. 天然木(樹高30cm以上が対象)について 天然生林・育成天然林、または人工林内に天然更新木が見られるときは以下について記入する。 <input type="checkbox"/> 人工林内に天然更新木がある A1. 樹皮剥ぎ/角こすり <input type="checkbox"/> 見られる [<input type="checkbox"/> 新しい <input type="checkbox"/> 古い /] (樹種:) <input type="checkbox"/> 見られない A2. 高さ2m以下に出ている下枝や萌芽 対象: 広葉樹 <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 少ないか、ほとんどない (目安: 5本/100㎡以下) A3. 稚樹(天然更新木・樹高2m以下) 対象: 広葉樹 <input type="checkbox"/> 見られる <input type="checkbox"/> 少ない(目安: 5本/100㎡以下) A4. 下枝、萌芽枝、稚樹などのシカの食痕 対象: 広葉樹 <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ほとんどない <input type="checkbox"/> 食痕が分からない	■P. 植栽木の被害について 人工林・育成天然林で植栽木があるときは、以下の本数を調べて記入する。 ※調査は50本を目安とする 植栽樹種名: 調査本数(約 本) 植栽年: 年 面積: ha <table border="1"> <tr><td>P1. 新しい角こすりがみられる</td><td>(約 本)</td></tr> <tr><td>P2. 樹皮の食痕が見られる</td><td>(約 本)</td></tr> <tr><td>P3. 頂芽の食痕がみられる</td><td>(約 本)</td></tr> <tr><td>P4. シカによる幹折れの痕跡がみられる</td><td>(約 本)</td></tr> </table> 調査木の平均胸高直径(目測でよい) <input type="checkbox"/> 10cm未満 <input type="checkbox"/> 10~20cm <input type="checkbox"/> 20cm以上 調査木の平均樹高(目測でよい) <input type="checkbox"/> 1m未満 <input type="checkbox"/> 1m~2m <input type="checkbox"/> 2m以上 近年の施業 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 今年下刈りを実施(予定) <input type="checkbox"/> 昨年まで下刈りを実施 <input type="checkbox"/> ()年前に除間伐実施 <input type="checkbox"/> その他()	P1. 新しい角こすりがみられる	(約 本)	P2. 樹皮の食痕が見られる	(約 本)	P3. 頂芽の食痕がみられる	(約 本)	P4. シカによる幹折れの痕跡がみられる	(約 本)
P1. 新しい角こすりがみられる	(約 本)								
P2. 樹皮の食痕が見られる	(約 本)								
P3. 頂芽の食痕がみられる	(約 本)								
P4. シカによる幹折れの痕跡がみられる	(約 本)								

■B. 林床のササについて B1. ササの量 <input type="checkbox"/> 密生 <input type="checkbox"/> 疎生または散在 <input type="checkbox"/> ない B2. ササの高さ <input type="checkbox"/> 50cm未満 <input type="checkbox"/> 50~150cm <input type="checkbox"/> 150cm以上 B1で「密生」または「疎生または散在」と回答した人のみ回答する B3. ササの食痕 <input type="checkbox"/> 多い <input type="checkbox"/> わずかにある <input type="checkbox"/> ほとんどない <input type="checkbox"/> 食痕が分からない	
--	---

■C. シカの痕跡について(調査箇所周辺での確認も含む) C1. シカの痕跡 次のシカの痕跡等が見られる(複数回答も可能) <input type="checkbox"/> シカ道 <input type="checkbox"/> 足跡 <input type="checkbox"/> 糞 <input type="checkbox"/> 骨・死体 <input type="checkbox"/> 角 <input type="checkbox"/> シカの痕跡は見られない C2. シカの姿または鳴き声の確認 <input type="checkbox"/> 姿 <input type="checkbox"/> 鳴き声のみ <input type="checkbox"/> なし 姿を見た場合(頭)	
--	---

■D. 回答者の経験について D1. 森林現場での業務経験年数 ()年目 D2. この調査箇所の森林現場での年数 ()年目
--

自由記述欄(下層植生の変化やエゾシカによる影響など気がついた点があれば記述する)

樹皮剥ぎ
枝葉の摂食
ササの食痕
シカ道
足跡
糞

評価点

合計	点
-----------	---

評価点から推定されるエゾシカの影響度

点数	森林の状態
53点以上	ササや稚樹が食害を受けるなど、かなり強い影響が出ていると思われます。
33～52点	エゾシカによる強い影響が出ているようです。
13～32点	エゾシカの痕跡は見られていますが、強い影響は生じていません。
12点以下	エゾシカの影響はほとんどないようです。

・調査項目と配点は、以下のとおりです。

項目		点数
A1-樹高30cm以上の樹皮剥ぎ		
	1:見られる-新しい	16
	2:見られる-古いのみ	15
	3:見られる-不明	15
	4:見られない	0
A4下枝・稚樹食痕		
	1:ある	18
	2:ほとんどない	0
	3:食痕かわからない	4
	4:枝葉がない	2
B3-ササの食痕		
	1:多い	23
	2:わずかにある	15
	3:ほとんどない	0
	4:食痕かわからない	3
	5:ササがない	8
C1-エゾシカの痕跡		
a	0:シカ道無し	0
	1:シカ道有り	16
b	0:シカ足跡無し	0
	1:シカ足跡有り	13
c	0:シカ糞無し	0
	1:シカ糞有り	14
最大点数		100